学校番号	1301

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活とふくしⅠ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「ふくし」とは何か？みずからの生活と結び付けながら、みなさんと一緒に考えていきましょう。
- 地域社会で生活されている人々の「ふだんのくらしのしあわせ」について考えましょう。
- 社会で起こっている福祉に関する諸問題について、新聞記事、テレビニュース、ｗｅｂ等から興味や関心の幅を広げましょう。
- 卒業後、福祉・介護・医療・保育分野に進みたい人にとって、必要とする基礎的な社会福祉に関する知識や技術を学ぶとともに「ふくしの心」も育みます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
みずからの生活と福祉とのつながりに気づき、社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、現代社会における社会福祉の目的や意義、役割について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
日常生活から派生する社会福祉に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
みずからの生活をみつめながら、福祉社会の実現に向けた課題解決に対して主体的かつ協働的に解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会福祉に関心をもち、福祉社会に向けた課題に主体的に取り組むとともに、社会福祉に関する幅広い視野と福祉観や社会福祉の向上を図る実践的な態度を身に付けている。	日常生活から派生する社会福祉に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	現代社会における社会構造の変容や特色について理解し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、社会福祉の意義や役割を理解している

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	生活とふくしのつながり	・「ふくし」とは何か？	a:プリントを記入できている。 b:自ら考え、自分の考えを表現し記述することができる。 c:授業に参加し、取り組む姿勢がみられる。	・プリント	・プリント ・感想	・プリント ・ワーク、ディスカッションの取り組み
		・人の一生とふくし	a:プリントを記入できている。 b:自ら考え、自分の考えを表現し記述することができる。 c:授業に参加し、取り組む姿勢がみられる。	・プリント	・プリント ・感想	・プリント ・ワーク、ディスカッションの取り組み
ステージ2	社会福祉の理念	・日本国憲法と社会福祉	a:プリントを記入できている。 b:自ら考え、自分の考えを表現し記述することができる。 c:授業に参加し、取り組む姿勢がみられる。	・プリント	・プリント ・感想	・プリント ・ワーク、ディスカッションの取り組み
		・現代の福祉理念 ・社会福祉を支える制度	a:プリントを記入できている。 b:自ら考え、自分の考えを表現し記述することができる。 c:授業に参加し、取り組む姿勢がみられる。	・プリント	・プリント ・感想	・プリント ・ワーク、ディスカッションの取り組み
ステージ3	人間の尊厳と福祉社会の創造	・人間としての尊厳	a:プリントを記入できている。 b:自ら考え、自分の考えを表現し記述することができる。 c:授業に参加し、取り組む姿勢がみられる。	・プリント	・プリント ・感想	・プリント ・ワーク、ディスカッションの取り組み
		・福祉社会の創造	a:プリントを記入できている。 b:自ら考え、自分の考えを表現し記述することができる。 c:授業に参加し、取り組む姿勢がみられる。	・プリント	・プリント ・感想	・プリント ・ワーク、ディスカッションの取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度